

@Solomon Virus check plug-in / SPA-PRO Mail @Solomon Enterprise
カスペルスキーアンチウイルスチェックエンジン (Ver.7) アップデートプログラム適用によるプログラム変更内容と注意点

2008.10.03

@Solomon Virus check plug-in シリーズのユーザー様各位
SPA-PRO Mail @Solomon Enterprise

現在、ご利用中のアンチウイルス機能のプラグインを組み込んだ SPA-PRO Mail @Solomon シリーズに対して、カスペルスキーアンチウイルスチェックエンジン (Ver.7) アップデートプログラムを適用した結果のプログラム変更内容と注意点は次の通りです。

1. アップデートプログラムの年内適用作業をお願いします

アンチウイルス機能のプラグインを組み込んだ SPA-PRO Mail @Solomon シリーズをご利用中の場合、アップデートプログラムの適用は 2008 年 12 月末までに必ず行ってください。変更されることになった理由と概要は次の 2 をご覧ください。また、変更しなかった場合にどのような状態になるのかは、下の 5 をご覧ください。

2. アンチウイルスエンジンが Ver.4 から Ver.7 へ変更されます

SPA-PRO Mail @Solomon シリーズに組み込んだプラグインの「アンチウイルス機能」が変更になります。アンチウイルス機能は、ウイルススキャン機能とパターンファイル更新機能に大別されます。

変更されることになったきっかけは、カスペルスキー社から提供されているアンチウイルスエンジンのライブラリ Ver.4 サポート終了と Ver.4 が利用しているパターンファイルのデータベース更新が 2008 年 12 月末までと、告知された事情に起因します。そのため、アンチウイルスエンジンについて、Ver.4 から Ver.7 を利用したエンジンに変更する作業を施しました。今回提供されるアップデートプログラムをユーザー様が適用することによって、Ver.7 を利用したエンジンに差し替わります。

3. ウイルススキャンの仕組みも見直し約2倍の高速化がされています

この機会に合わせてウイルススキャンの仕組みも根本から見直し、Ver.4 のアンチウイルスエンジンを使った (2008 年 9 月までにリリースされている) @Solomon Virus check plug-in を組み込んだ SPA-PRO Mail @Solomon と比較すると、約 2 倍の高速化をはかりました。なお、アンチウイルス機能利用時のメモリ消費量は、従来バージョンとほぼ同等です。

4. パターンファイルダウンロードサイトも変更されます

Ver.7 を利用したエンジンに変更したと連動して、カスペルスキー社のパターンファイルをダウンロードするサイトが変更されました (※1)。それにともない、@Solomon Virus check plug-in を組み込んだ SPA-PRO Mail @Solomon シリーズ側でもウイルスパターンファイルをダウンロード・格納するフォルダ名を変更しました (※2)。また、パターンファイルダウンロ

ードの記録ログの内容が簡素化されました。

5. Ver.4 用のパターンファイル更新は 2008 年 12 月末までです

カスペルスキー社提供のウイルスパターンファイルダウンロードサイトについては、Ver.4 のアンチウイルスエンジンを利用した従来版では、2008 年 12 月末まで更新が保証されていますが、それ以降は保証されなくなります。そのため、できるだけ早めにアップデートプログラムを適用くださるようお願い申し上げます。

万が一、Ver.4 のアンチウイルスエンジンを利用した従来版 @Solomon Virus check plug-in を組み込んだ SPA-PRO Mail @Solomon シリーズのご利用を続けられた場合、2009 年 1 月以降、パターンファイルの更新がされなくなる見込みです。パターンファイルの更新が止まる前に、アップデートプログラムをできるだけ早い時期に適用してください。アップデートプログラムを適用すれば、Ver.7 へのアンチウイルスエンジンが組み込まれ、合わせてパターンファイルダウンロードサイトも下記の (※1) の通り、自動的に変更されます。

(※1) 新しいダウンロードサイトは、次の通りです。ただし、このサイトは、カスペルスキー社が将来的に変更しないことを保証しているものではありません。また、ダウンロードサイトは予告なしに変更されることがあります。

dnl-00.geo.kaspersky.com

:

dnl-19.geo.kaspersky.com (連番部分 00-19 のうち、20 カ所からランダムに選択)

(※2) パターンファイルのダウンロード時に、従来バージョンで利用されていたフォルダ、および新バージョンで利用するフォルダは次の通りです。

(旧) [プラグインインストールフォルダ] ¥data
[プラグインインストールフォルダ] ¥modified-date

↓

(新) [プラグインインストールフォルダ] ¥Bases

カスペルスキーアンチウイルスチェックエンジン (Ver.7) アップデートプログラム適用方法について

従来の差分アップデート適用方法とほぼ同等です。

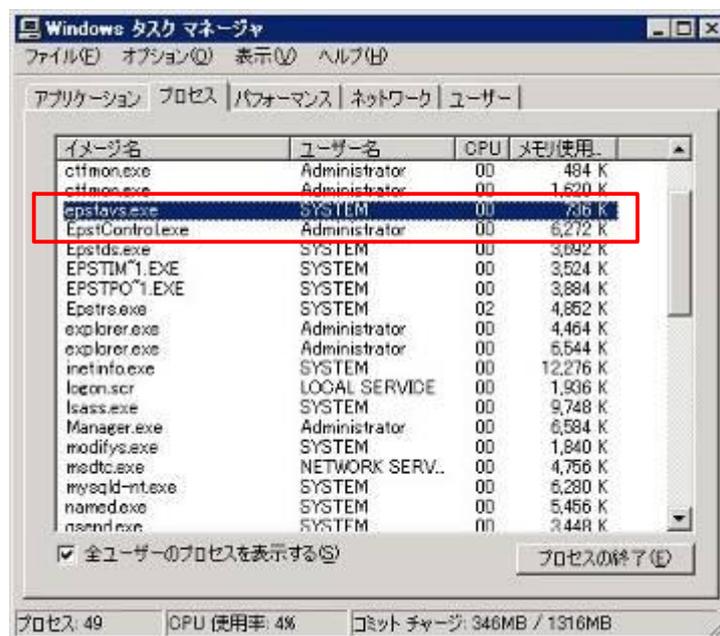
(SPA-PRO Mail @Solomon シリーズ)

- (1). " SPA-PRO Mail Control"画面を開き、[サービス制御] タブにある"SPA-RS","VMCS"サービス(※)を停止。
(※) @Solomon Virus check plug-in を組み込んでいるときは、"VMCS"サービスはこの画面に
なく、「@Solomon Virus check plug-in」 - 「プラグイン管理」を開いて表示される画面の最
下部分にある「サービス制御」でサービスを停止してください。
- (2). "SPA-PRO Mail Control"および" SPA-PRO Account Manager"を閉じる。
- (3). ダウンロードした zip ファイル "Vengine2B@Solomon-7.0.3.33a.zip" を解凍し、アップデー
トプログラム **"E-POST Virus Engine Changer 2B for Solomon.msi"** を実行。
- (4). プラグインインストール済みのドライブ・フォルダを事前に確認しておき、上書き更新される
ように、インストール先フォルダを指定して実行。
- (5). " SPA-PRO Mail Control"を開き、停止したサービスを再開する。
- (6). 別記指定された方法やパターンファイルダウンロード記録ログなどでバージョンを確認する。
ちなみに、今回のアップデート適用をしても、[バージョン情報] タブに表示されるバージョン
表記は変わりません。

アップデートプログラム適用後の動作確認

アップデート適用を行った後は、「バージョン情報」タブでのバージョン表記は変わりませんが、下記の部分で違いが出てまいりますので、問題なくアップデートが適用されたかどうかを確認する方法として確かめてください。

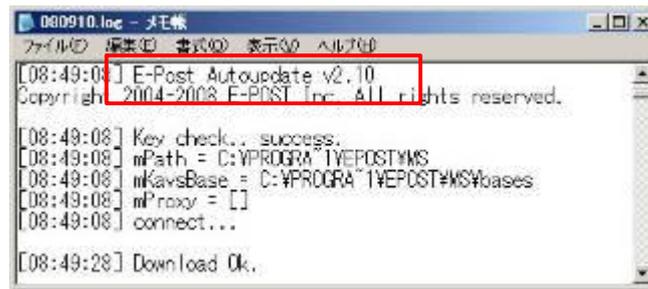
1. タスクマネージャを起動し、「全ユーザーのプロセスを表示する」状態にすると、従来バージョンにはなかった "epostavs.exe" というプログラムが稼働していることを確認できます。この "epostavs.exe" は、サービスプログラムではありませんが、パターンファイル更新のサービスプログラムである VMCS ("modifyfs.exe") の従属プログラムとして動作しているものです。



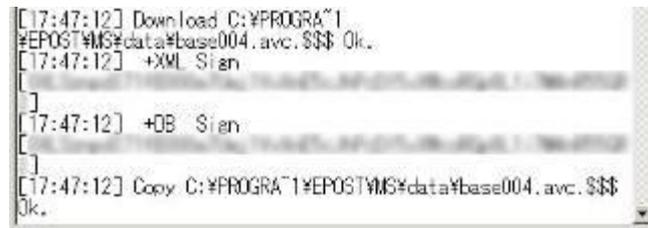
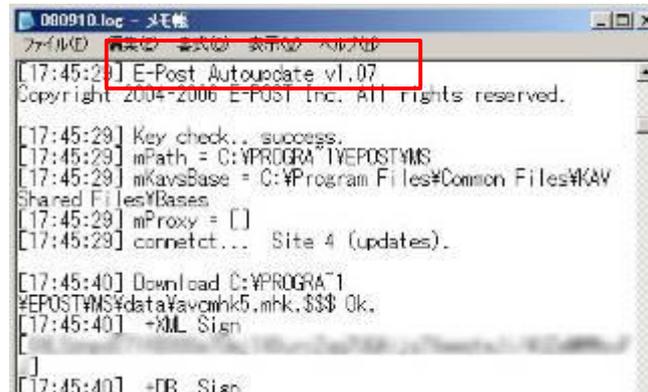
(画面は E-Post シリーズの場合)

2. パターンファイルダウンロード時に動作するプログラム "autoupdate.exe" が 1.07 から 2.10 にアップしました。パターンファイルダウンロード記録ログを確認すると、"autoupdate.exe" のバージョン表記を確認することができます。パターンファイルダウンロード記録ログは、従来通り、[プラグインインストールフォルダ (既定値が C:\¥plug-in-Kasp)] ¥log に保管されます。

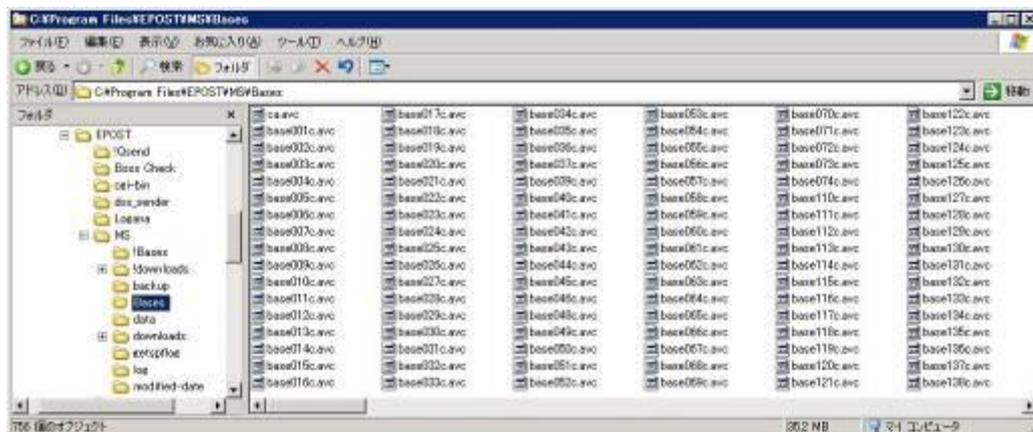
(新バージョンの記録ログ) (画面は E-Post シリーズの場合)



(従来バージョンの記録ログ) (画面は E-Post シリーズの場合)



3. ダウンロードされたパターンファイルは、[プラグインインストールフォルダ (既定値が C:\¥plug-in-Kasp)] ¥Bases に格納されます。(画面は E-Post シリーズの場合)
 従来バージョンでは、[同] ¥data、[同] ¥modified-date というフォルダを利用していましたが、それらのフォルダは使わなくなります。



4. ウイルスチェックのテストは、コマンドプロンプトを開き、カレントフォルダを「プラグインインストールフォルダ」に移動してから、次のコマンドを入力します。最後に表示された“nResult=1”のコード番号は、「ウイルスが見つからなかった」ことを意味します。

```
C:\¥plug-in-Kasp > kasp arj.ppl
[arj] argv[1] = arj.ppl
[arj] Source = arj.ppl
[arj] Start Virus scan.
[arj] End Virus scan. (arj.ppl, )
[arj] nResult = 1 ()
```

- (※) Windows Server 2008、Windows Vista の環境では、「コマンドプロンプト」を必ず「管理者として実行する」必要があります。管理者としてコマンドプロンプトを開いていない場合、kasp プログラムを実行するとパイプエラーの表示がされますので注意してください。